

## 第14回検察庁等契約監視会議議事概要

開催日	平成25年11月18日(月)
開催場所	法務省大臣官房会計課会議室
出席委員	椎橋隆幸(中央大学教授) 大曾根匡(専修大学教授) 宮園久栄(東洋学園大学教授)
審議対象期間	平成25年4月～同年7月
審議対象契約	一般競争契約 671件 随意契約 442件
重点審議案件	一般競争契約 10件
委員からの主な意見・質問, それに対する回答等	別紙のとおり
意見具申等	今回の審議案件については, 特段問題があるというものはなかった。 引き続き適正な契約をお願いしたい。

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
<p>1 「プリンタトナー及びドラムカートリッジの供給」            契約金額 3, 134, 974円            支出負担行為担当官            さいたま地方検察庁検事正</p> <p>(質問)            落札率が低くなった原因は何か。</p> <p>(質問)            本体機器メーカーの純正品よりリサイクル品の方が安価のようであるが、法務本省としてリサイクル品の納入は推奨しているのか。</p> <p>2 「エレベーター保守・点検業務」            契約金額 1, 436, 400円            支出負担行為担当官            千葉地方検察庁検事正</p> <p>(質問)            予定価格の算出に当たっては、国土交通省作成に係る各種資料を基準にしているということであるが、全般的に応札額が低いことから、過去の調達実績や近隣の同規模庁舎における調達実績なども予定価格に反映させるべきではないか。</p>	<p>(回答)            本体機器メーカーの純正品単価に基づいて予定価格を算出したところ、本件の落札業者が純正品より安価なリサイクル品の納入を前提とした価格で入札したため、低落札率となったこと等によるものである。            なお、仕様書には、リサイクル品の納入も可能である旨明記されている。</p> <p>(回答)            リサイクル品については、コスト削減が図られ、機器の動作等に支障がなければ、導入することとしている。</p> <p>(回答)            指摘を踏まえ、検討していきたい。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
<p>3 「機械警備委託契約」            契約金額 942,480円            支出負担行為担当官            静岡地方検察庁検事正</p> <p>4 「庁舎機械警備業務委託」            契約金額 1,738,800円            支出負担行為担当官            福島地方検察庁検事正</p> <p>※案件3及び4は類似案件につき一括審議</p> <p>(質問)            落札率が低くなった原因は何か。</p> <p>5 「処遇用自動車リース契約」            契約金額 3,940,020円            支出負担行為担当官            九州地方更生保護委員会委員長</p> <p>(質問)            8者応札があって落札率が99.5%と高かったが、燃費性能も加味した総合評価による落札決定であり、車両の価格自体はもっと低いところもあったということか。</p> <p>(質問)            点数化すると分かりにくいですが、要は、5年間のリース料と燃料代を合わせて比較して、最も安価な価格を提示した相手方と契約したということか。</p>	<p>(回答)            治安の維持に関わる検察庁の機械警備業務を請け負うことで宣伝効果が生じることや、国庫債務負担行為による契約により、5年間の長期にわたり利益が見込まれることなどから、各社の営業戦略上の目的のもと、入札がなされたものと推察される。</p> <p>(回答)            そのとおり。過去に競争入札により契約した実績額そのものを使ったため厳しい予定価格となっているが、その範囲内で燃費性能も加味して落札者を決定した。</p> <p>(回答)            そのとおり。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
<p>(質問) 都市部と地方の別など、自動車の整備台数はどのように決めるのか。</p> <p>6 「事務用消耗品購入契約」 契約金額 1, 207, 176円</p> <p>7 「事務用消耗品購入契約」 契約金額 1, 889, 254円</p> <p>8 「事務用消耗品購入契約」 契約金額 1, 234, 008円 支出負担行為担当官 四国地方更生保護委員会委員長</p>	<p>(回答) 確かに、都心部は公共交通機関が発達しており、地方部の方が自動車の要望が強い実情はあるが、予算上の制約があり、現状では各庁1台が基本となっている。</p>
<p>(質問) 同じ文具購入契約で落札率に大きな差があるが、品目等の内容が違うということか。</p>	<p>(回答) 24品目それぞれについての入札を行い、品目ごとの最低価格を提示した相手方と当該品目の購入契約を締結したものであり、3つの契約を合計すると、予定価格に対する契約率は約6割となる。中には、予定価格と応札額に大きな開きがある品目があり、当該品目を含む契約について落札率が低くなっている。</p>
<p>(質問) 四国だからこういう方式を取り入れたということか。</p>	<p>(回答) 調達改善の取り組みとして、一括調達や単価契約に取り組んでいる。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
<p>9 「被収容者に係る警備関係及び護送関係請負業務 一式」  契約金額 45,990,000円  支出負担行為担当官  東京入国管理局長</p> <p>(質問)  落札率が98.7%と高くなっているが、予定価格の設定が少し厳しかったのではないか。</p> <p>10 「清掃等業務委託」  契約金額 572,250円  支出負担行為担当官  仙台入国管理局長</p> <p>(質問)  落札金額が予定価格の4分の1ということで企業努力の範囲を超えていると思われるが、人件費は適正に支払われているのか。</p> <p>(質問)  清掃業務の大部分は人件費であると思われるが、何を削って、金額を落としているのか。</p>	<p>(回答)  昨年度の入札状況を踏まえ、参考見積を取った結果、相応である予定価格を設定したが、結果として、1回目では落札されなかったことから、予定価格の設定が若干厳しかったと考える。</p> <p>(回答)  検査確認の際、特段問題はない旨報告を受けているが、業者側の人件費の支払の部分までは把握していない。  金額を落としている部分は業者の企業努力であり、人件費については契約の際に最低賃金を必ず守るように話をしている。</p> <p>(回答)  近隣の地域で請負先が複数ある場合、日程調整し、同日で複数箇所の作業を行うなど、作業方法を工夫することなどにより、経費を削減していると思われる。</p>